

# NewPJ シリーズ学習会

主催 北大農 NewPJ (リスコミ職能教育プロジェクト)

協力 札幌消費者協会 他



旧ポプラ並木



工事中の温室を含む棟



農学部正面

今年度のテーマ : 農作物の育種って何？

11月17日

## 第1回 「遺伝学・育種の四方山話」

【日時】 11月17日(月) 12:00~15:15

ランチミーティング 12:00~12:45

学習会 13:00~15:15

【会場】 北海道大学農学部 5階 中講堂 (札幌市北区北9条西9丁目)

【講師】 貴島 祐治 先生 植物育種学研究室 教授

### 講師 貴島祐治 先生

北海道大学大学院 農学研究院 応用生命科学部門  
育種工学分野 植物育種学研究室 教授

植物育種学研究室は日本最初の育種学講座で1915年に「東北帝国大学農科大学(現在の北大農学部)」に置かれました。

ご専門は植物育種学・植物分子遺伝学です。  
イネの耐冷性メカニズムの解明や温暖化により新たに発病が危惧されるイネの病気等の研究、  
アフリカに適応するイネの形質に関する研究を  
されています。



出身地～ 福岡市 1960年生まれ

12月10日

## 第2回 「育種の長い歴史・お豆の話」

【日時】 12月10日（水）12：00～15：15

ランチミーティング 12：00～12：45

学習会 13：00～15：15

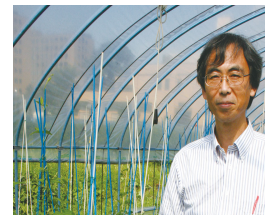
【会場】 北海道大学農学部 5階 中講堂（札幌市北区北9条西9丁目）

【講師】 阿部 純 先生 植物遺伝資源学研究室 教授

### 講師 阿部 純 先生

北海道大学大学院 農学研究院 応用生命科学部門  
育種工学分野 植物遺伝資源学研究室 教授

ダイズの開花性、耐湿性、耐乾燥性などの環境に対する適応性の分子遺伝学的研究を進めておられます。研究材料には、日本各地から収集した野生祖先型であるツルマメもあるそうです。



出身地～ 新潟県 1954年生まれ

#### 【学習会の大きな流れ】

13：00～14：20 ◆お話を聴く

13：50～14：20 ◆グループで話す

14：20～15：00 ◆先生に聞く 30分（グループ） 10分（各自）

15：00～15：15 ◆書きましよう（感想・分かったこと・難しかったこと・疑問や質問・もやもや）～15：15には終了

12月13日（土）

## 第3回 ミニフォーラム

### 「GM 作物に対する多様な考え方を知る」

【日時】 12月13日（土）12：00～16：15

ランチミーティング 12：00～12：45

ミニフォーラム 13：00～16：15

【会場】 北海道大学農学部 4階 大講堂（札幌市北区北9条西9丁目）

【講師】 芝池 博幸 先生（独）農業環境技術研究所主任研究員

## 講師 芝池 博幸 先生

(独) 農業環境技術研究所 生物多様性研究領域  
主任研究員 (遺伝子組換え生物・外来生物影響評価  
リサーチプロジェクト リーダー)

1998年より、外来植物による遺伝的・生態的攪乱に関する研究を担当されている。具体的にはタンポポ属植物を材料として、外来種、在来種及び雑種を識別する方法や雑種性タンポポの環境指標性を確立するための研究をされている。また、2002年より、遺伝子組換え(GM)作物の影響評価に関する研究も担当され、農家圃場規模でGM作物を栽培した場合の花粉飛散や交雑の実態を把握するとともに、GM作物と非GM作物が共存するためのルール作りに必要な知見を蓄積している。農環研サイエンスカフェ：歌でわかる「農業と外来生物」  
出身地～・・・市 1964年生まれ



1月23日

## 第4回 「新しい育種技術 NBT って何？」

【日時】 2015年1月23日(金) 12:00～15:15

ランチミーティング 12:00～12:45

学習会 12:50～15:15

【会場】 北海道大学農学部 5階 中講堂 (札幌市北区北9条西9丁目)

【講師】 立川 雅司 先生 茨城大学農学部 教授

## 講師 立川雅司(たちかわ まさし) 先生

茨城大学 農学部 地球環境科学科 教授

東京大学とミシガン州立大学で社会学をおさめられた農学博士。遺伝子組換え農作物からナノテク食品まで、農と食に関連する分野を中心に、各国の(日・EU・アメリカ・中国など)食料・農業政策の比較研究をされています。2011年10月22～23日に行われた「GM どうみん議会」(NewPJの先行プロジェクトが実では、専門家パネルを務めてくださいました。



出身地 ～ 奥の細道・結びの地で有名な岐阜県大垣市